

『技術者倫理』 進行予定 (大石玄担当分)

● 第1回 1月21日(月)

ガイダンス

『だから失敗は起こる』(1) 失敗学へようこそ

六本木ヒルズ回転ドア事件 [技術者倫理の世界 16頁～]

ハインリッヒの法則とは

● 第2回 1月28日(月)

『だから失敗は起こる』(3) 予測できるはずの失敗

ベビーカー挟まれ事故 / 学校シャッター事故 / 上越新幹線脱線事故

公衆の安全・健康: JCO臨界事故 [技術者倫理の世界 25頁～]

● 第3回 2月4日(月)

ハインリッヒの法則: 演習

『だから失敗は起こる』(4) 失敗は伝わらない

三陸津波災害 / 日比谷線脱線事故 / 雪印食中毒事件

~~製造物責任: フォード「ピント」事件 [技術者倫理の世界 51頁～]~~

● 第4回 2月18日(月)

『だから失敗は起こる』(5) 組織が失敗を呼ぶ

JR福知山線脱線事故 + みずほ銀行システム障害事件

● 第5回 2月20日(水) ※補講として実施

『だから失敗は起こる』(8) 失敗を残せ

JAL御巣鷹山墜落事故 / 三菱重工業タービンローター事故

コンプライアンス: 三菱自動車リコール隠し [技術者倫理の世界 77頁～], パロマ湯沸器事故

内部告発: ミートホープ食肉偽装事件 [技術者倫理の世界 88頁～]

参考資料)

失敗知識データベース

<http://www.sozogaku.com/fkd/index.html>

建物事故予防ナレッジデータベース

<http://www.tatemonojikoyobo.nilim.go.jp/kjkb/index.php>

■ 演習

身近なところで「ハインリッヒの法則」に当てはまるようなリスク要因を釧路高専の敷地内（実験室等を含む）において探してみよう。自分自身で《ヒヤリ・ハット》を経験したことがあれば、その体験を報告してくれても良い。

GMT 2013-JAN-31 (Thu) 23:59 までに見つけた事例を e メールで報告のこと（可能であれば、現場の写真を撮って画像ファイルを送って欲しい）。

この演習については、〈隠れた危険〉の度合いに応じて評価を付与する [全体の 10 %]

《評価について》 レポート提出によって行う [全体の 90 %]

- ① 題名は「失敗を活かすには——××事件に学ぶ」とすること
- ② レポートの中で、自分自身がこれまでに経験した失敗をエピソードとして紹介すること
- ③ 講義の中で紹介した事件を少なくとも1つは踏まえたものとする
（取り上げることにした事件を副題として ×× に書き入れる）こと。

事件について詳しく調べたいときには、以下の文献を参考にするとよい。

畑村洋太郎 『失敗学実践講義 文庫増補版』（講談社文庫, ISBN:9784062766135）

畑村洋太郎 『「失敗学」事件簿』（小学館文庫, ISBN:9784094081800）

日本技術士会監修 『技術者倫理 日本の事例と考察』（丸善, ISBN:9784621085127）

レポートは GMT 2013-02-25 23:59 までに e メールにて提出すること。形式は Word ドキュメントもしくは PDF の添付ファイルを基本とする。評価基準は以下のとおり。

- a：期日を守って提出され、形式が整えられているか？ [30 点]
- b：「講義の中で紹介した事件」が内容を踏まえて十分に紹介されているか？ [20 点]
- c：「自分自身がこれまでに経験した失敗」が適切に組み込まれているか？ [20 点]
- d：「公衆の安全」に対する技術者の役割が適切に表明されているか？ [20 点]

提出されたレポートのうち優秀なものは、ウェブで公開する。作成にあたっては、不特定多数の人に読まれることを意識して書いて欲しい（例えば、エピソードの中で登場させる人物のプライバシー情報をみだりに公表するような記述は好ましくない）。なお、本名をウェブ上で明かしたくない場合には、本名の後にペンネームを記載すること。

《連絡先》

genoishi@kushiro-ct.ac.jp

※ 病欠の場合、講義開始の 30 分前までに連絡すること